市の貴重な資産を大切にし、循環型社会の形成を目指したい

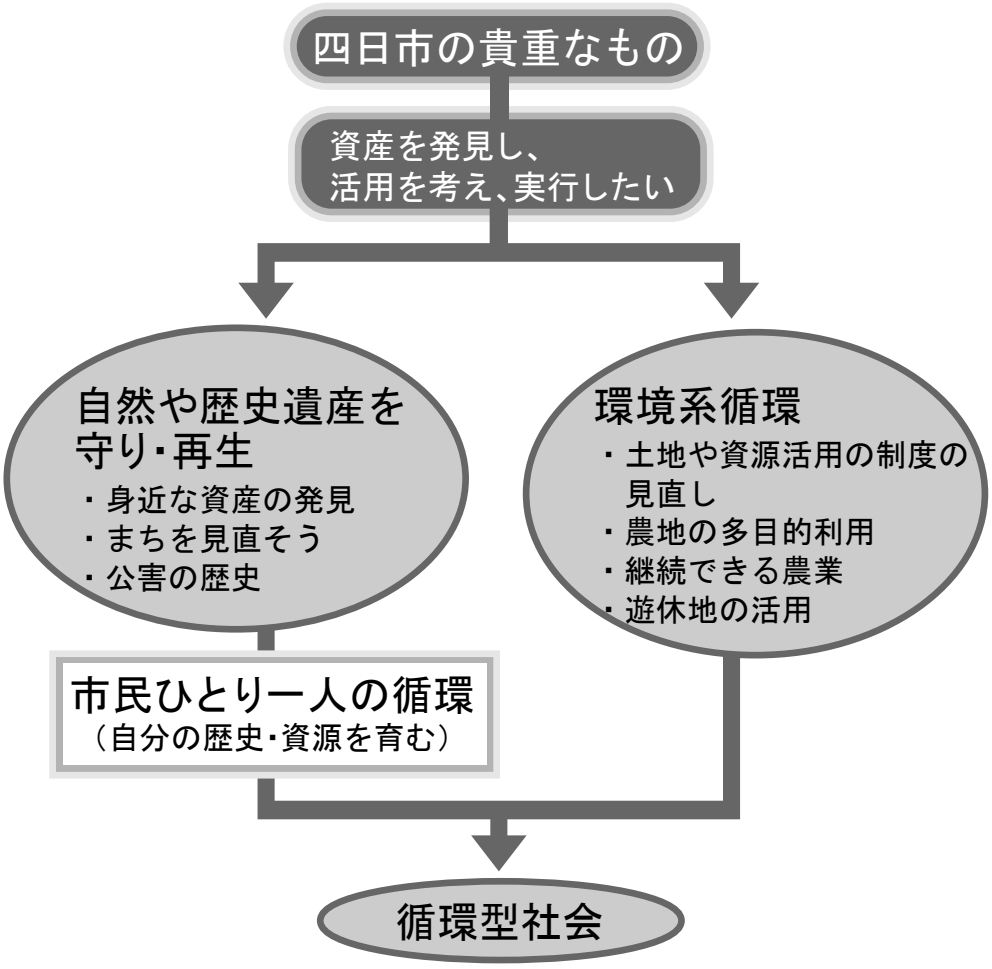
5 資源再生、歴史・文化

(1) 資産を発見し、活用を考え・実行したい

○私たちは、市の自然や歴史遺産などの資産を大切にしていきたいと思います。資産を守り、あるいは再生し、活用していくためには、“身近な資産の発見活動”や“四日市のまちを見直そう運動”といったさまざまな活動を通して、資産を発見し、知らせることが必要だと思います。そして、資産を発見し、使い方を考え、実際に活用すると、新たな資産やその魅力を発見でき、使い方も活動も多様に発展していきます。

○身近には、失われつつある思い出の場所や地域の資産など、個人が直接かかわっていくことができる資源が多くあるはずであり、もう一度、身近な資産を見直す必要があります。
その資産を活用していくために、大人と子ども、大人と大人、子どもと子どもの間に相互交流を行えるような活動が必要になり、そのための場や空間をつくる必要があると思います。

○そのほかに直接かかわることができなくても、愛着の持てるまちづくりをする上で大切だと思われる資産があります。それは、ぞくぞくするような場や資源、歴史的遺産、産業遺産や港、農地を含む緑や水辺の自然環境などです。負の遺産である公害の歴史も、現在の四日市を築く礎の一つとして大切にしていきます。
四日市の過去を見つけ、それを基に未来を考えていくために、歴史の副読本の製作活動などが考えられます。



(2) 資産や歴史の循環を大切にしたい

○地域・地区の資産、農地などの土地を活用していくために、制度を見直していく必要があります。農地については、その多目的利用や継続できる農業を考えていくことで、生産機能と環境系循環の両面を守っていくことが必要です。農地は、環境学習の場としても重要です。

○まちに歴史や資源があるように、人もそれぞれ固有の歴史や資質を持って生きています。その2つは生活を通して相互に関わり、影響しあい、育ち・育てられる関係を築いてきました。私たちはまちの歴史や資源を大切にしながら、まちと人の関係が、過去から現在・未来へと、時間軸でも連綿とつながる、循環型の社会を目指したいと思います。